

1 調査日 令和8年7月16日（木）

2 調査の概要

（１）滋賀県済生会看護専門学校（栗東市大橋）

滋賀県済生会看護専門学校は、開校以来、多くの卒業生を県内医療機関へ輩出しており、看護人材の教育・養成について多くの知見と実績を有している。

一方、本県では、高齢化に伴う医療・介護ニーズの高まりや少子化の進行により担い手不足が懸念されており、地域医療を支える看護人材の確保・養成は重要な課題となっている。

本委員会は、「将来を見据えた総合的な医療福祉体制の充実と専門人材の育成について」を重点調査項目としており、今後の委員会活動の参考とするため、同校を訪問し、看護人材の確保・養成に係る課題や取組等について調査するとともに、学生との県民参画委員会を通じて、将来の地域医療を担う人材の育成や地域定着に向けた方策について意見交換をした。



（２）京都市役所（京都市中京区）

京都市役所は、歴史的・文化的価値を有する本庁舎について、景観や歴史性に配慮しながら、執務空間の再編やバリアフリー化を実施するなど、歴史的建築物としての保存・活用と現代的な行政機能との両立を図っている。

一方、本県では、県庁舎のあり方について検討が行われるなど、県が保有する建築物について、老朽化対策や計画的な更新・改修等が課題となっている。

本委員会は、「持続可能な行財政基盤の確立について」を重点調査項目としており、今後の委員会活動の参考とするため、同市を訪問し、歴史的価値の継承と行政機能の確保を両立させるための課題や取組等について調査した。

